

2017年度 特定非営利活動に係わる事業又はその他の事業報告書
(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

特定非営利活動法人まる

1. 事業実施の成果

- 「新通所施設構想づくり」だが、前年度、工房まる利用者やスタッフが参加したワークショップによって「新しい maru」の形が見えた。そのイメージをベースに依頼している設計事務所からも2案提示いただき、模型等も作成していただいた。その後、有力な候補地も見つかり、資金的な事業計画づくりに着手した。その検討過程で、自己資金等がほとんどない中で全額借入れして建築した場合、その後の返済負担が年数、金額ともにとても大きくなることを認識。自己資金づくりや助成金等の獲得によって借入額をできる限り減らす方策が必要となった。次年度は早期に方策を見つけ計画推進を図りたい。
- 前年度より最重要課題としたスタッフ育成。今年度も研修参加の機会づくりなど積極的に行った。外部では、スタッフ階層別に組まれた研修を中心に、合わせて26の研修にスタッフの個別課題に合わせて参加を促進した。内部では、3つのテーマのスタッフ全体研修を企画し実施した。年度末には工房まるの5グループから利用者に対する日々の実践から1例を取り上げ発表する「実践報告会」を開催した。こうした取り組みの成果か、スタッフの意識の高まりを感じられるようになった。
- 「表現・就労事業」の内容は福祉サービス利用者の生産活動である。利用者の工賃UPを目指しチームの再編、営業活動の促進を試みたが、売上目標に達することはできなかった。スタッフ間のコミュニケーションや営業活動の改善が重要である。しかし、売上、工賃支給額ともに微増ながらUPし赤字にもならなかった。今年度明らかになった課題を次年度の活動に活かしたい。
- 前年度の反省を活かし、事業担当者の仕事配分に注意を払い事業を進めた。委託等の業務は、規模は小さいが大きな経費がかからない業務を数件行うことができた。当法人も出資し設立した「(株)ふくしごと」からは、目標としていた事業担当者への役員報酬の配分は行われなかったが、請け負った業務に対する報酬が前年度より増えた。これらによって収益改善につながり、赤字決算であるものの、「当法人の活動をアピールするための経費」として理解できる範囲の額となった。しかし、福祉サービスの人件費率が上がる中その経費負担は重く、このままで良いということではない。次年度は当法人の強みを活かせる事業で収益を上げられる様取り組みたい。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業	生活介護・就労継続支援B型事業の多機能型事業所	毎週火曜日～土曜日	工房まる (三宅のatrie) 工房まる (野間のatrie) 工房まる (野方のatrie)	38名	障害者52名	115,254

障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業の受託事業	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	0
福祉作業所の運営事業	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	0
障害者の日常生活の様々な状況に応じた支援事業	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	0
障害者の表現活動や就労を支援する事業	当法人が運営する施設での授産活動	毎週火曜日～土曜日	工房まる (三宅のアトリエ) 工房まる (野間のアトリエ) 工房まる (野方のアトリエ)	38名	障害者52名	8,621
コミュニケーション創造事業	障害のある人のアート作品をユーザーと結ぶ事業、障害者アート展覧会開催、障害への理解を広めるフォーラム、障害者施設活動を紹介するイベント開催および啓蒙活動	依頼により随時	福岡市とその近郊	2名	障害者約30名、一般市民約500名	2,108
第3条の目的を達成するために必要な指定管理者制度に係わる施設の管理運営受託事業	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	0

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
物販販売事業	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	0